南丹保健所管内の感染症発生動向調査による週報

（新型コロナウイルス感染症/インフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点、全数報告）

第 18 週　　2025 年 4 月 28 日　　～　　2025 年 5 月 4 日

今週のコメント

伝染性紅斑（南丹保健所管内）が警報レベルになりました。

こまめな手洗い・咳エチケットで予防しましょう。

感染性胃腸炎（南丹保健所管内）は警報レベル**解除**となりました。

2025 年第 18 週の報告です。

〇令和 7 年 4 月 7 日（第 15 週）よりインフルエンザ/COVID-19 定点数は 4 カ所、小児科定点は 2 カ所となりました。

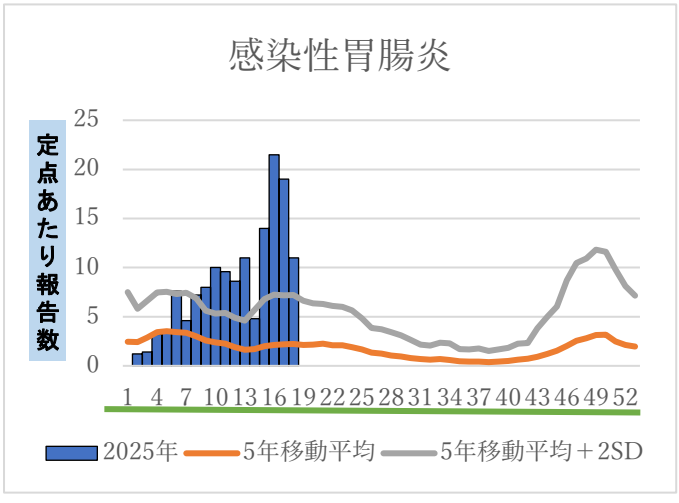
〇感染性胃腸炎の定点当たりの報告数は 11.0（前週 19.0）、京都府の定点当たりの報告数は 7.18（前週 9.44）となっています。

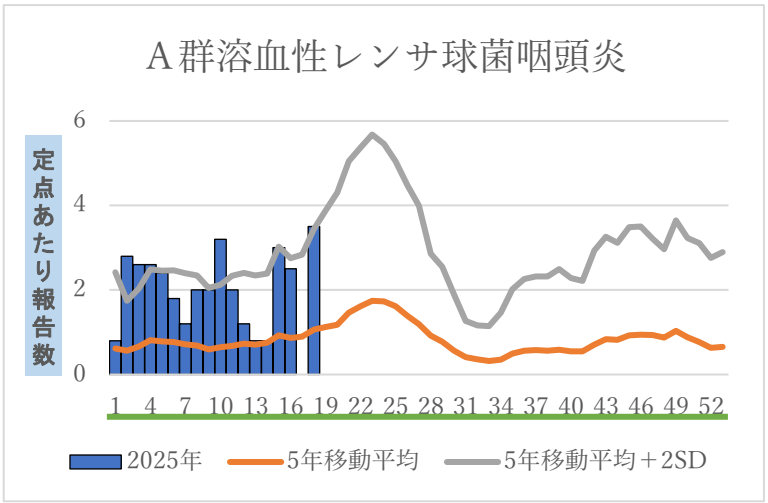
〇A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点あたりの報告数は 3.5（前週 0.0）となっています。

〇全国的に百日咳（全数報告疾患）が増加傾向にあり、府内では令和 7 年 3 月 31 日までに累計 107 件と既に前年の報告数を上回っています。18 週においては南丹保健所管内で 0 件（前週 3 件）、府内で 26 件（前週 34 件）報告されました。長引く咳には注意し、乳幼児は予防接種を確実に行いましょう。

百日咳に関する情報はこちらを確認して下さい。

今週のグラフ　（下記のグラフは管内上位2位疾患のグラフを掲載しています）





※横軸は週数　縦軸は定点あたりの報告数を示しています

1 『5 年移動平均』とは、5 年間でどのくらい発生したかを表しています。

2 『5 年移動平均+2SD』とは、過去 5 年間で 95%の確率でグラフ内に収まることを表しています。

感染性胃腸炎とは…

ウイルスや細菌が原因で嘔吐や下痢、腹痛などを引き起こす病気です。特に、ノロウイルスやロタウイルスなどウイルス性胃腸炎が多く見られます。

感染を防ぐためには、食事の前やトイレの後などこまめな手洗いをすることが大切です。食品の十分な加熱（85 度～90 度で 90 秒以上）や調理器具の衛生管理も重要です。どちらのウイルスもアルコール消毒の効果は薄いとされていますので、家庭内で感染者が出た場合、嘔吐物や便の処理は手袋やマスクを着用し、次亜塩素酸ナトリウム（家庭用漂白剤）で消毒してください。感染した際は水分補給をこまめに行い、脱水を防ぎましょう。

ウイルス性胃腸炎の場合は特異的な治療法はなく、症状に応じて整腸剤や制吐剤、水分補給目的の点滴などの対処療法がおこなわれます。特に乳幼児や高齢者では脱水症が懸念されますので、飲んでも吐いてしまうなどの状態が続く場合は早めに医療機関を受診してください。

ノロウイルスについてより詳しく知りたい方はこちらのページもご覧ください。

これだけは知っておきたいノロウイルス感染症の知識（京都府）

感染性胃腸炎（特にノロウイルス）について（厚生労働省）

各定点把握疾患　発生状況（南丹管内）

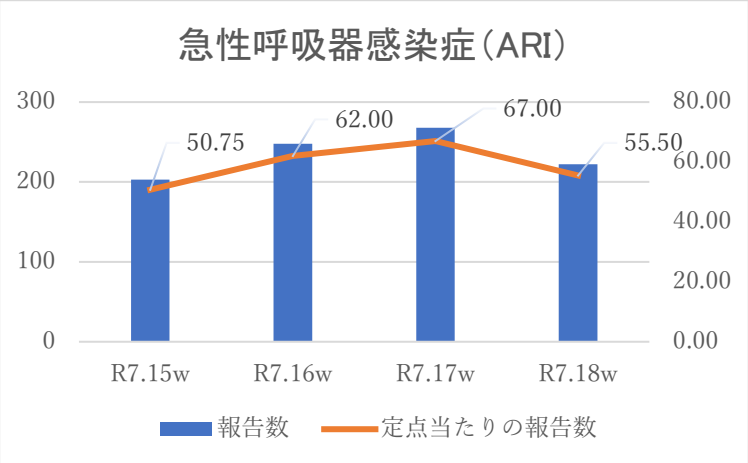
	警報レベル		注意報	R7.18w		
	開始	終息		報告数	定点当たり報告数	先週比
新型コロナウイルス感染症				5	1.25	↗
ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ	30	10	10（流行1）	3	0.75	↘
RSｳｲﾙｽ感染症				1	0.50	↗
咽頭結膜熱	3	1		0	0.00	→
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4		7	3.50	↗
感染性胃腸炎	20	12		22	11.00	↘
水痘	2	1	1	0	0.00	→
手足口病	5	2		0	0.00	↘
伝染性紅斑	2	1		4	2.00	↗
突発性発しん				4	2.00	↗
ヘルパンギーナ	6	2		0	0.00	→
流行性耳下腺炎	6	2	3	0	0.00	→
急性出血性結膜炎	1	0.1		0	0.00	→
流行性角結膜炎	8	4		1	1.00	→

参考資料：京都府感染症情報センター

急性呼吸器感染症（ARI）について

急性呼吸器感染症（ARI）とは、急性の上気道炎（鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、咽頭炎、喉頭炎）又は下気道炎（気管支炎、細気管支炎、肺炎）を指す病原体による症候群の総称です。インフルエンザ、新型コロナウイルス、RS ウイルス、咽頭結膜熱、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナなどが含まれます。

急性呼吸器感染症（ARI）サーベイランスは、流行しやすい急性呼吸器感染症の発生動向の把握、未知の呼吸器感染症発生時に迅速に探知する等の目的で第 15 週より開始となりました。



○南丹保健所管内第 18 週報告数は 222 件（定点当たりの報告数:55.50）でした。

京都府の情報はこちら

最新情報は下記のリンク先でご確認ください（関連リンク）

・京都府感染症情報センター

更新時期：（原則）毎週木曜日 14 時　前週分の状況を更新

・感染症の情報（国立感染症研究所）